

2009年度研究プロジェクト「絵画と文学に表象される、時間と空間の脳による認識」
Research Project: Recognition of time and space by brain function
as expressed in the arts and literature

実施期間: 2008～2010年度(第2年次)

Term of the Project: 2008-2010 fiscal years (2nd Year)

研究代表者: 近藤 寿人 大阪大学大学院生命機能研究科教授

Project Leader: Dr. Hisato KONDOH, Project Representative on the IIAS Planning Board;
Professor, Graduate School of Frontier Biosciences, Osaka University

研究目的:

視覚を通して得た像が、脳の機能によってどのように認識されるのかが、最近具体的に明らかにされては始めている。一方で、記憶を含む時間認識の機構の理解は、未だ端緒的な段階である。人間とその意識を正しく理解するための学問として、脳機能の研究を発展させるためには、その目標の中に「このような人間の意識の表象が説明されるべき」という課題を具体的に設定することが求められる。絵画や文学には、認識されうるものとしての時間や空間が如実に表象されている。しかし、脳機能の研究と、美術・文学の研究とはこれまで接点に乏しかった。このプロジェクトでは、脳機能研究、絵画研究、文学研究の専門家たちが、それぞれの立場から「時間と空間の認識」に関する問題を提起し、公開の場で議論を交わすことによって新しい発想をくみ上げる。脳機能の研究に将来的な課題を提示しつつ、美術や文学の演出的な効果のなかに無意識で用いられている「脳機能の特性」を発見するための手がかりを得て、新しい研究の潮流を生み出したい。これらの芸術への表象は、性差の意識や宗教の成立とも密接な関係がある。2年次には、これらの分野の研究者をも交えて、本研究プロジェクトを深めたい。

Objectives:

The problem of how visual images are processed in the brain to gain spatial and objective recognitions is just beginning to be answered. The mechanisms for brain functions involved in temporal recognition have remained largely elusive. Proposing cognitive problems, which are explicit in the arts and literature, to brain scientists will facilitate clarifying the brain functions that underlie spatio-temporal recognition. A forum consisting of brain scientists and researchers in the arts and literature is planned for this purpose. In the history, artistic expression strongly reflected gender recognition and establishment of religions. These aspects will be included in the subjects of the forum.

前年度の研究の概要:

視覚認識、記憶などを専門とする最先端の脳の研究者と、文学、美術を大局的な観点から分析的に研究する研究者の円卓会議的な講演会を実施し、「時間と空間の認識」という共通のキーワードのもとで、研究会に参加した大学院生等と議論を交した。共有する問題意識の整理を行い、2年次の研究の方向については、性差の意識や宗教の成立をテーマに含めることとした。

Achievement:

A round-table style forum was held among brain scientists and researchers in the arts and literature. Discussions were exchanged between the platform and audience. The shared concepts

that developed in the inter-disciplinary forum would be furthered in the second year's activity.

キーワード: 時間と空間の認識、脳機能、美術、文学、ジェンダー、原始宗教

Key Words: Spatio-temporal recognition, brain functions, arts, literature, gender, religions

2009年度の研究計画・方法:

人間が視覚を通して得た像が、脳の機能によってどのようにして「認識」に帰着されるのかが、最近具体的に明らかにされはじめている。紅を掃いたつややかな唇と、つややかな緑色のピーマンの肌とは、認識に関与する脳領域の一部が共有される。

一方で、記憶を含む時間認識の機構の理解は、未だ端緒的な段階である。記憶は「生起した事実の脳機能の中での記録」として、現在では研究されている。しかし記憶はそれにとどまるものではなく、自らの体験を伴わない遠い過去から、自らが体験し得ないかもしれない未来に至るまでの「時間」の中に、各々の事象・事件が位置づけられること、つまり意識の中の時間認識と結合されたものであるはずである（でなければ「歴史」を理解することはできない）。このような(広義の)記憶の時間的な階層性については、未だ研究の糸口もない現状であろう。

人間とその意識を正しく理解するための学問として、脳機能の研究を発展させるためには、その目標の中に「このような人間の意識の表象が説明されるべき」という課題を具体的に設定することが求められる。

太古より、絵画や文学には、認識されうるものとして時間が表象されており、一方でそれらの絵画や文学における表象からは、時間の認識の共有が期待されている。身近な日本を例にとれば、信貴山縁起絵巻を代表とする絵巻物は、絵巻というスタイルで、しかもそのなかに同図異時法などを駆使しながら、時間の階層を表象し、それを鑑賞者に伝えようとしている。伊勢物語の各段が「昔男ありけり」ではじまることによって、現在とは異なった時間的な階層のもとで事態が進行することが、(古今を問わず)読者による時間受容に重要であろう。

このように、絵画や文学には、認識されうるものとしての時間や空間が如実に表象されている。しかし、脳機能の研究と、美術・文学の研究とはこれまで接点に乏しかった。このプロジェクトでは、脳機能研究、絵画研究、文学研究の専門家たちが、それぞれの立場から「時間と空間の認識」に関する問題提起をし、公開の場で議論を交わすことによって新しい発想をくみ上げる。脳機能の研究に将来的な課題を提示しつつ、美術や文学の演出的な効果のなかに無意識で用いられている「脳機能の特性」を発見するための手がかりを得て、新しい研究の潮流を生み出したい。

この趣旨のもとで、公開シンポジウム形式の研究会を開催し、平成 20,21 年度の活動の中心とする。多彩な視点を持った研究会は、講演者から聴衆への一方的な語りかけに終わらせるのではなく、講演者間の自由闊達な議論、また、講演者以外の一般参加者からの発想の吸収を重視したい。

文学や美術に表象される脳機能の特性は、性の認識や宗教の成立とも深い関わりを持っている。平成 21 年度では、平成 20 年度の研究に出発した議論を深化させるとともに、性意識や原始宗教の成立期に関する専門家を研究会の演者に含めて、脳の認識機能の根源に近づきたい。

2009年度の研究会開催予定:

年 1～2 回開催予定 (国際高等研究所、大阪大学など)

参加研究者リスト: 10 名 (◎研究代表者)

氏 名	職 名 等
◎近藤 寿人	大阪大学大学院生命機能研究科教授
大澤 五住	大阪大学大学院生命機能研究科教授
岡田 温司	京都大学大学院人間・環境学研究科教授 (西洋絵画)

小倉 明彦	大阪大学大学院生命機能研究科教授（脳科学）
小倉 孝誠	慶応大学文学部教授（フランス文学）
佐々木 閑	花園大学文学部教授（仏教学）
佐藤 宏道	大阪大学大学院医学系研究科教授（脳科学）
藤田 一郎	大阪大学大学院生命機能研究科教授（脳科学）
山本 登朗	関西大学文学部教授（日本文学）
若杉 準治	京都国立博物館学芸課列品管理室長（日本絵画）

参加研究者は、プロジェクトの進展とともに、必要に応じて追加する。
また、参加研究者が所属する各組織の大学院生を 20 人程度招聘する。

話題提供者リスト：

参加研究者による話題提供を中心とする。（話題は仮題）

藤田 一郎	「脳の認識機能と世界観の成立」
佐々木 閑	「仏教における、規範と信仰対象の成立と変遷」
（折衝中）	「ユダヤ教、初期キリスト教における規範と信仰」
岡田 温司	「ルネサンス絵画に表現されるキリスト教世界」
小倉 孝誠	「19 世紀フランス文学におけるジェンダーの意識」
（折衝中）	「脳の認識におけるジェンダーと認識されるジェンダー」

ユダヤ教、キリスト教の成立期に関する専門家、脳機能と性認識に関する専門家をゲストスピーカーとして招聘（折衝中）。

研究成果報告書： 2011 年 3 月出版予定

担当： 川北副所長

国際高等研究所
研究プロジェクト「絵画と文学に表象される、時間と空間の脳による認識」
2008年度第1回研究会プログラム

開催日時：2008年11月1日（土） 11：00～17：30

開催場所：国際高等研究所 216号室（2F）

研究代表者：近藤 寿人 国際高等研究所企画委員／大阪大学大学院生命機能研究科教授
担当所長・副所長：岡田 益吉 副所長

出席者：（31人）

研究代表者	** 近藤 寿人	国際高等研究所企画委員／大阪大学大学院生命機能研究科教授
参加研究者	大澤 五住	大阪大学大学院生命機能研究科教授
（30人）	** 岡田 温司	京都大学大学院人間・環境学研究科教授
	** 小倉 明彦	大阪大学大学院生命機能研究科教授
	** 小倉 孝誠	慶応大学文学部仏文科教授
	佐藤 宏道	大阪大学大学院医学系研究科教授
	** 藤田 一郎	大阪大学大学院生命機能研究科教授
	** 山本 登朗	関西大学文学部総合人文学科教授
	** 若杉 準治	京都国立博物館学芸課列品管理室長

荒殿 航輔	岩渕 真木子	内川 昌則	小笠原 一紀
岡田 研一	岡本 正博	奥田 雄一	小倉 絵里
北村 茂	木村 晃大	木村 壘	小関 雅敬
小林 康	佐々木 耕太	島本 一馬	七五三木 聡
田中 慎吾	土井 隆弘	中島 実	西村 なおこ
野一色 いずみ	山本 洋子		

**：スピーカー

プログラム

11月1日(土)

11:00 打合せ・昼食〔セミナーラウンジ〕

13:00 研究会〔216号室〕

はじめに：近藤 寿人

国際高等研究所企画委員／大阪大学大学院生命機能研究科教授

13:05 話題提供者：藤田 一郎 大阪大学大学院生命機能研究科教授

演題「脳と視覚～見ることの裏側～」

13:45 話題提供者：岡田 温司 京都大学大学院人間・環境学研究科教授

演題「ルネサンス絵画の時間と空間」

14:30 話題提供者：若杉 準治 京都国立博物館学芸課列品管理室長

演題「絵巻物の時間」

15:10 休憩

15:25 話題提供者：小倉 孝誠 慶応大学文学部仏文科教授

演題「歴史叙述・時間・物語」

16:10 話題提供者：山本 登朗 関西大学文学部総合人文学科教授

演題「物語における時間と空間」

16:50～17:30

話題提供者：小倉 明彦 大阪大学大学院生命機能研究科教授

演題「時空間記憶の形成と夢の仮説」

配布資料（公開不可）

- ・ 岡田 温志 「ルネサンスの時空」
- ・ 小倉 孝誠 「歴史叙述・時間・物語」
- ・ 山本 登朗 「平安朝物語における時間と空間」

国際高等研究所
研究プロジェクト「絵画と文学に表象される、時間と空間の脳による認識」
2009年度第1回研究会（通算第2回）プログラム

開催日時：2009年12月5日（土）10：30～17：00

開催場所：大阪大学総合学術博物館3階会議室
豊中市待兼山町1-20

研究代表者：近藤 寿人 大阪大学大学院生命機能研究科教授
担当所長・副所長：川北 稔 副所長

出席者：(29人)

研究代表者	近藤 寿人	大阪大学大学院生命機能研究科教授
参加研究者	大澤 五住	大阪大学大学院生命機能研究科教授
(7人)	** 岡田 温司	京都大学大学院人間・環境学研究科教授
	** 小倉 明彦	大阪大学大学院生命機能研究科教授
	** 小倉 孝誠	慶応大学文学部仏文科教授
	** 佐々木 閑	花園大学文学部教授
	佐藤 宏道	大阪大学大学院医学系研究科教授
	山本 登朗	関西大学文学部総合人文学科教授

**：スピーカー

話題提供者	肥塚 隆	大阪大学名誉教授
(ゲストスピーカー)	手島 勲矢	同志社大学大学院神学研究科教授
(2人)		

その他参加者 大学教員・大学院生ならびに社会人
(19名)

プログラム

12月5日(土)

- 10:30 はじめに : 近藤 寿人 大阪大学大学院生命機能研究科教授
- 10:50 話題提供者: 肥塚 隆 大阪大学名誉教授
演題「造形芸術と時間」
- 11:30 話題提供者: 小倉 明彦 大阪大学大学院生命機能研究科教授
演題「隠れている脳の性差」
- 12:10 昼食
- 13:00 話題提供者: 小倉 孝誠 慶応大学文学部仏文科教授
演題「近代フランスにおけるジェンダーの認識」
- 13:40 話題提供者: 岡田 温司 京都大学大学院人間・環境学研究科教授
演題「磔のキリストー人類学者フレイザーの仮説とミケランジェロ」
- 14:20 話題提供者: 手島 勲矢 同志社大学大学院神学研究科教授
演題「ユダヤ教伝統と文字解釈の諸相」
- 15:00 休憩: 維新派パフォーマンス (博物館前広場)
- 15:50 話題提供者: 佐々木 閑 花園大学文学部教授
演題「仏教哲学における時間と空間の認識」
- 16:30~17:00 討論